

平成 28 年度第 1 回鹿児島県大学図書館協議会研修会（県外研修報告）

日時：平成 28 年 10 月 1 日(土)13:30～14:00

場所：鹿児島大学附属図書館 3 階 31 号室

参加：16 名

看護図書館情報研究会主催第 4 回研究会「教育と図書館」の報告

報告者：釜堀千恵氏（鹿児島純心女子大学附属図書館）

2016 年 3 月 12 日 日本図書館協会研修室にて行われた表記研修会プログラムに沿って、
1. 講演「図書館と大学教育の連携」（お茶の水女子大学 森いづみ氏）、2. 「看護図書館
における資料整備についての懇談」、3. 「看護師の臨床研究のための検索指導事例」（国際
医療福祉大学特任教授 今田敬子氏）についての報告説明があった。

お茶の水女子大の LALA（Library Academic Learning Advisor）いわゆるティーチング
アシスタントの採用状況、AO 入試改革と図書館の関係などについて質疑応答がなされた。

平成 28 年度鹿児島県大学図書館学生協働ワークショップ

日時：平成 28 年 10 月 1 日（土）14:30～17:45

場所：鹿児島大学附属図書館 5 階ライブラリーホール

参加：学生学生 21 名 教職員 33 名

1 基調講演

「学生協働とキャリア形成」について山口大学大学教育機構学生支援センター教授平尾元彦氏により、学生協働が新しい時代の図書館づくりに貢献し、学生自身のキャリア形成にもつながるという主旨の講演があった。

講演後、活動をさらに拡大するにはどうすればよいか、チームで働くということを学生に理解させるにはどうすればよいか、活動の方向をどのように考えればよいかといったことについて質疑応答・意見交換があった。

2 各大学サポータ活動報告

鹿児島県立短期大学、志学館大学、鹿児島国際大学、鹿児島大学、各学生サポータ自身による活動報告があり、その後、ミーティングの頻度、選書ツアーの実施状況について意見交換が行われた。

3 ワールドカフェ

テーマ「学生サポーターの活動によって大学図書館の利用を活性化するには」について参加者が6班にわかれ、各班での検討後、班のメンバーを交代してさらに検討を深めるという「ワールドカフェ」形式での意見交換会をおこなった。学生にとっては他大学での状況や考え方を知る機会となり、また教職員側では図書館利用についての学生の視点からの改善点へのヒントが得られるなどの成果があった。

閉会后、鹿児島大学図書館サポーターによる図書館案内があり、また有志による意見交換会が行われた。